

お わ り に

今日、社会における情報化の進展は著しく、我が国では情報化が社会のあらゆる分野に浸透しつつあります。学校教育においても、こうした情報化の進展に適切に対応し、子どもたちに高度情報通信社会の中で主体的に生き抜く力を身につけさせることが、重要な課題となっています。

一方、平成6年度から実施されている教育用コンピュータ新整備方針に基づき、学校における教育用コンピュータの整備が着実に進展しつつあります。また、情報通信ネットワークについては、特にインターネットの普及が著しく、第15期中央教育審議会第一次答申においても「近い将来すべての学校がインターネットに接続することを目指す」等の提言がなされ、高度情報通信社会に対応する「新しい学校」づくりが進められようとしています。

このような状況を受けて、全国の教育センター等をネットワーク拠点として整備し、学校におけるインターネットの有効活用を図る計画が進められています。京都府におきましても、本年度、京都府教育情報ネットワーク拠点が開通し、府内各学校等において情報通信ネットワークを活用した教育活用がすでに始まっています。情報通信ネットワークの活用により、各学校は、情報の収集、発信等を通して各学校単独ではなしえない教育活動を展開できるものと期待されます。

そのため、当総合教育センターにおきましては、本年度から2年計画で「情報通信ネットワークの活用に関する研究」を研究主題に研究を進めていく予定としております。本年度は、学校における情報通信ネットワークの活用に関する先行研究等を探り、学校における情報通信ネットワークの構築状況やその在り方を研究するとともに、京都府教育情報ネットワークの効果的な活用方法等を検討してきました。

各学校において、情報教育の一層の推進と充実を図るため、本資料を参考にさせていただければ誠に幸いです。

最後に、本資料をまとめるに当たって御協力いただきました研究協力者の先生方に、心から感謝申し上げ、本資料の結びの言葉とします。

京都府総合教育センター 情報教育研究部